

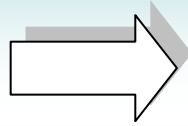
女性の再チャレンジ支援策

平成17年10月28日
文 部 科 学 省

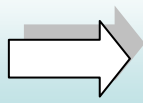
女性の再チャレンジをめぐる現状

少子高齢化の急速な進展

人口減少社会の到来



労働力人口の減少



このような状況の中で、生涯学習の振興等を通じ、女性の再就職等につながる総合的な支援策を講じる必要がある。

具体的施策(生涯学習の振興)

女性のキャリア形成支援プラン[委託事業](継続)

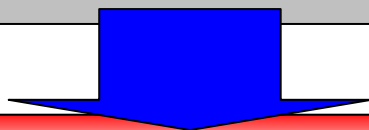
多様なニーズに対応した学習相談等のサービス提供
活動成果を活動へつなげるための橋渡しシステムの構築

国立女性教育会館(継続)

女性のキャリア形成に関する調査研究
チャレンジに必要なロールモデル(事例)等の収集・提供

専修学校社会人新キャリアアップ推進事業(新規)

企業が求める人材像に対応した、女性の再チャレンジのための学習・能力再開発の機会の提供



子育て等で一旦就業を中断した女性の再就職・起業等の実現

具体的施策（特別研究員事業（日本学術振興会）の質的充実）

～ 育児等による研究中断からの復帰支援の創設と優秀な博士課程学生等に対する支援の充実～

「科学技術創造立国」の実現に向けて、新たな知識を創造し、未来を切り拓く研究活動を行うためには、将来の研究活動を担う創造性豊かな優れた若手研究者が、主体的に研究に専念し、その能力を最大限に発揮できるよう支援することが重要

優れた若手研究者が、自由な発想のもとに主体的に研究に専念できるよう「特別研究員事業」を推進(昭和60年度～)

特別研究員（DC）【対象：博士課程（後期）学生、月額20万円】

平成18年度までに博士課程学生数の5%を目標に段階的に拡充

（第3期科学技術基本計画に向け、達成年度を19年度（中期目標期間）から前倒し）

	H15	H16	H17	H18
博士課程学生数	72,363	73,446	76,334	79,222
特別研究員(DC)	3,000	3,220	3,640	3,960
割合	4.1%	4.4%	4.8%	5.0%

博士課程学生数のH17以降は、H11からH16の伸び率に基づく推計値。

達成年度の前倒し

特別研究員（PD、SPD）【対象：博士課程修了者等 PD:月額36.4万円 SPD:月額44.6万円】

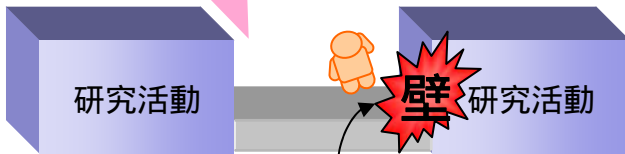
現行の支援規模（約1,400人）を維持 選考審査体制や研究報告書を改善・充実

特別研究員（復帰支援）を創設【対象：研究中断から復帰する博士課程修了者等 月額36.4万円】

優れた男女の研究者が、出産・育児等による研究中断後に、円滑に研究現場に復帰することを支援。（H18：50人）

<従前>

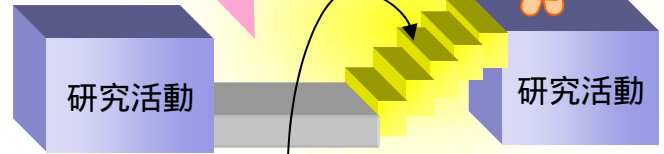
出産・育児等による研究中断



出産・育児等で研究現場を離れると、その間に研究業績が上げられないため、次の研究ポストを得ることが困難

<支援開始後>

出産・育児等による研究中断



出産・育児から復帰する研究者を対象に研究奨励金(PD相当)を支給し、円滑に研究現場に復帰

次代を担う優秀な若手研究者がアルバイト等せず、主体的に研究に専念でき、研究者としての資質や潜在能力を飛躍的に向上